

令和2年度 音楽科 2年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

< 2 > 各学年・各分野の目標

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を伸ばし、歌唱、器楽、創作で表している。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽に対する理解を深め、味わって聴いている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。（80％以上）
	B	おおむね満足できる状況である。（50％以上）
	C	努力を要する状況である。（50％未満）

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。（90％以上）
	4	十分満足できる状況である。（80％以上）
	3	おおむね満足できる状況である。（50％以上）
	2	努力を要する状況である。（50％未満）
	1	一層努力を要する状況である。（20％未満）

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 器楽（リコーダー）練習を通し、呼吸法など音楽活動に必要な基礎的な技能を身に付けさせる。
- ② ワークシートを活用し、音楽の要素や特質を理解させ表現や観賞に活かす。
- ③ パートリーダーを中心としたグループ練習を設定し、主体的に活動できる場面を設ける。

音楽科 2 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	創	技	鑑	
6	ガイダンス（１）	歌うための準備・校歌 基礎的知識事項	●	●	●		・正しい発声と発音で歌える （観察） ・基礎的知識事項を身につけている（ワークシート・定期考査）
7	歌詞の内容や全体の響きを生かして（３）	混声合唱曲	●	●	●		歌詞の内容や全体の響きを生かして表現を工夫している。 （観察・ワークシート・定期考査）
	日本の美しい情景を表す歌（２）	浜辺の歌	●	●	●		・日本語の美しい響きを生かし情景をイメージして、歌唱している。（観察・ワークシート・定期考査・実技試験）
	旋律の表れ方や重なりを理解して（２）	「小フーガ ト短調」	●			●	・パイプオルガンの響きを味わい、旋律の重なりを理解して鑑賞している。（観察・ワークシート・定期考査）
8	リコーダーに親しもう（２）	アーティキュレーション	●	●	●		・正しい奏法で演奏している。（観察・ワークシート・定期考査）
	動機を生かした旋律を作ろう（２）	創作	●	●	●		・動機を生かした音楽表現の工夫ができています。（観察・ワークシート・定期考査）
8	音楽の構成の仕方を理解して（３）	「交響曲第五番 運命」	●			●	・音楽の構造と曲想との関わりを理解して鑑賞している。（観察・ワークシート・定期考査）
9	声部の役割を生かして（９）	混声合唱曲	●	●	●		・曲想や声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち表現の工夫をしている。（観察・ワークシート・定期考査・実技試験）
10							
11	和楽器に触れてみよう（２）	箏の実技	●	●	●		・和楽器の音色に関心を持ち基本的な奏法を身に付けている。（観察・ワークシート・定期考査）
12	オーケストラの豊かな表現（２）	「展覧会の絵」	●			●	・オーケストラの響きを味わい他の芸術との関連に関心を持ち鑑賞している。（観察・ワークシート・定期考査）

1	日本の伝統音楽に親しもう（3）	勸進帳 越天楽	●			●	・楽器や声の特徴を味わい、我が国の伝統音楽を理解し鑑賞している。
2	混声合唱の深まり（4）	混声合唱曲	●	●	●		（観察・ワークシート・定期考査）
3							・歌詞と音楽との関わりを理解し旋律のまとまりや曲想を生かして表現の工夫をしている。（観察・ワークシート・定期考査・実技試験）